



POINT |  
態度

日常生活と日本国憲法のつながりから追究意欲を引き出す工夫

6学年の政治国際編の教科書では、日本国憲法や国の司法、行政、立法についての内容を取り扱う。子どもたちにとって身近な内容ではないため、「子どもたちが実感をもって学習に取り組むことが難しい」との声をよく耳にする。子どもの「なぜ?」「どうして?」につなげた学習問題を作るためには、社会的事象と日本国憲法のつながりが見える教材の提示が必要であろう。子どもの追究意欲を引き出し、学習問題が自然と生まれてくる工夫をした実践例を紹介する。

1 教材の工夫

6学年の単元「わたしたちの生活と日本国憲法」では、日本国憲法の3つの原則が、我々の暮らしにどのように生かされているのかを学習する。導入において、子どもが初めて耳にするであろう日本国憲法について、「どのようなことが書かれているのか」と発問するだけでは、子どもの追究意欲は生まれにくいのではないかと考えた。そこで、導入では、ユニバーサルプランターを提示した。



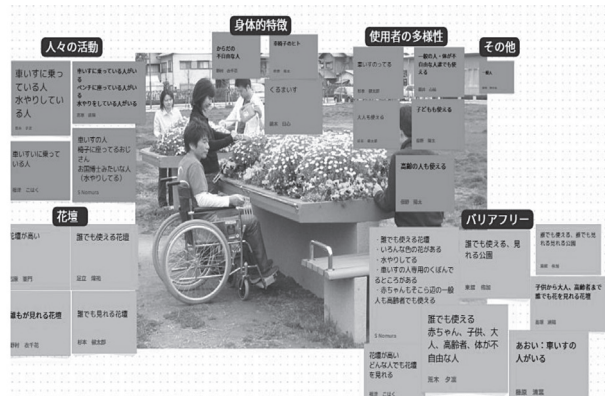
【ユニバーサルプランター】

写真資料の読み取りの際には「どのような人が何をしているのか」「どのようなものがあるのか」に着目することが大切であると考え。「みんなのような子どもは使える花壇?」や「この花壇を高齢の人は使える?」と多様な他者が使えるという点に着目する補助発問も行った。

様々な立場の人が不自由なく花壇を使うことができることや、誰もがその場を使うことができるという点を子どもが読み取ることで、「誰もが大切」という「基本的人権の尊重」の考え方に気付くことができるだろう。これを契機として、生活の中の日本国憲法について考えていくという学習問題の設定につながるようにした。

2 授業形態の工夫

考えを Canva のホワイトボードに打ち込み、付箋の分類によって多様な立場の人がいることが視覚的に捉えられるようにした。これにより、基本的人権の尊重という憲法の原則が身近なところで生かされていることを確認して学習をまとめることができた。



【Canva のホワイトボード】

# 思考を促す教材の工夫

広尾町立広尾小学校 教諭 滝口 太郎



POINT 2  
思・判・表

## 具体的な事例から考える教材の工夫

子どもたちの追究意欲が高まる学習問題と同様に、学習活動には適切な教材の選定が必要不可欠である。その教材で子どもがどのような興味・関心をもち、どんな見方・考え方を働かせるのかを教師が明確にイメージすることが、教材を最大限に生かすことへとつながるであろう。

### 1 わたしたちの暮らしの中の日本国憲法

「暮らしの中にある基本的人権の尊重」で教科書に取り上げられている国民の権利は、10個と多い。また、時間的な制約の中で国民の3つの義務や身近な権利についても取り扱う必要がある。そこで本時では、国民の権利を〇×クイズで学ぶ教材と、10個の権利についての資料を用意した。

#### 暮らしの中の基本的人権の尊重

～国民の権利を〇×クイズで考えてみよう～（いくつかあるうちの一部分だよ）

問題	予想〇×	正解	権利の名前
1 住むところを変えなかったのに、大人になって一人暮らしを始めた		○	居住権 ☞居住を選ぶ自由 (第22条)
2 特定の立場から政治を扱った本を書いて出版した		○	自由権 ☞表現の自由 (第21条)
3 おうちの人にお金を出してもらい、専門学校や大学に進学したが、勉強したと全く関係のない仕事に就いた		○	自由権 ☞職業選択の自由 (第22条)
4 滝口先生は、結婚して子どもができたので、仕事を休んで子育てに専念した		○	平等権 ☞法の下平等 (第14条)

#### 【国民の権利についての〇×クイズ】

このように、権利で保障されている場面を〇×クイズで考えた後に調べる活動を行うことで、国民の権利について具体的に理解できると考えた。

### 2 暮らしの中の平和主義

「暮らしの中の平和主義」では、広尾サンタランドのホームページ画像と旭浜のトーチカ群の新聞の資料を用意した。



【広尾サンタランドの基本理念】



【2025年（令和7年）5月3日（土曜日） 十勝毎日新聞】

広尾サンタランドは、学校のすぐ近くにあり、町のシンボルともいえる身近な施設である。サンタランドの理念には、平和への願いが込められている。

また、旭浜のトーチカ群は、太平洋戦争末期に建造された戦争遺構である。学校から車で30分程度の場所にあり、数名の児童は、実際に見て、トーチカ内に入った経験もあるようだった。トーチカの役割を説明し、戦争が身近な土地で行われていたかもしれないことを知り、平和について関心をもって考える姿が見られた。

このように、子どもたちに身近ではない憲法について、具体的な事例を取り上げることで、子どもの思考を高めることができるだろう。